

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

こんにちは。メディセレの児島恵美子です。

2月25～26日に第102回薬剤師国家試験が行われました。合格基準の225点に対し、メディセレ自己採点システムによる平均点速報値は、昨年度より10点ほど低い242.7点でした。ちなみに難化した100回目は67.1%、101回は72.9%、そして今回が70.3%という正答率になっています。直近2回の間ほど難しさだと予想していたので、予想通りではありました。1日目の必須問題がそこまで難しくなかったため、受験者の精神もある程度安定した状態のまま2日間を終えることができた印象です。足切りも緩和されたので、そこまで結果を心配しなくてもよいかと思います。

科目別に見ると、相変わらず衛生が難しく、実務は知らないとまず解けない問題が学生を不安にさせたかなと感じました。過去の問題と比較すると、点数を取りやすかった法規が難化しました。全体的に、点数の取りやすい問題とそうでないものの差が大きかったのではないのでしょうか。実際に、正答率60%を超える問題が237問もあり、他の受験者が正答する問題を自分も落とさなければ、絶対評価点の225点は何とか得点できるようになっています。ただ、昨年度より減ったとはいえ、全国1,000人以上の卒業延期生がいます。卒業と国家試験という2つの山を越えて、社会に出る新人たちを皆さんで育てていきましょう。

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子